



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより

平成30年度 第10号
平成30年12月25日

一年のおわりに

校長 吉田 正行

今日で二学期が終了となります。学習面だけでなく、大きな行事を通して、相手を思いやり、協力する力が大きく育った学期でした。子供たちの努力はもちろんですが、ご家庭や地域の方の応援のおかげと感謝しております。

さて、明日から冬季休業に入ります。この時期は年末年始と重なり、一年間の生活を振り返るとともに、新しい年を迎える大切な時期になります。自分の成長を確かめ、今年お世話になった方々だけでなく、親子や家族などの近い関係の中でも「ありがとう」の気持ちを言葉や文字にしてきちんと伝えてほしいと思います。

今年は、災害や事故の多い一年でした。その中で、私の心に残る一言がありました。それは、山口県で不明の2歳の男児を捜索ボランティアとして発見した尾畠春夫さんの「世の中には重たいものはいっぱいあると思いますけど、人の命より重いものはこの地球にないと思っているんです」という言葉です。警察の要請を断り、お母さんに発見した男児を自分の手で直に渡しました。その信念と命を大切にするという姿勢に深く感銘を受けました。



関戸公民館ギャラリーに展示された「人権の花運動」への取組紹介パネルと1年生の観察カード

瓜生小学校では、今年もお花倶楽部の協力を得て、全校で「ひまわりのように上を向こうプロジェクト」に取り組んできました。その結果、約250本の「ど根性ひまわり8世」の花を咲かせるとともに、「みんなでいじめのない明るく楽しい学校をつくろう」という心の花も咲かせてきました。異学年の交流や関わりを通して、互いを尊重し思いやる気持ちが大きく育っていることは瓜生小学校が誇れることの一つです。さらに一年生が中心となって「人権の花」運動にも取り組み、学校の取組を市内外にも発信してきました。これからも教育活動の基盤となる人権教育を大切に、「人権意識の向上」に努めて参ります。

今年も保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に対するご理解と学校を温かく支え、ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。来年も子供たちが安心して生活し、落ち着いた環境の中で学習が進められるよう、学校と家庭、地域の結びつきをより強固なものにしていきたいと思っております。引き続き瓜生小の子供たちをよろしく願いいたします。

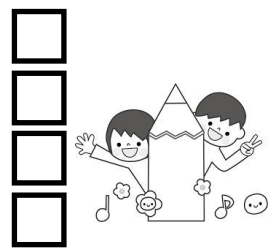
皆様にとって新年が幸多い年になることをお祈りしています。よい年をお迎えください。

【生活習慣のふりかえり 12月】

□に各自のふりかえりを記入する

- あいさつ へんじ 挨拶・返事
- やさしい言葉 優しく心
- がくしゅう どくしょ 学習・読書
- しんせつ こうどう たすけ 親切な行動

- 自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。……………
- 優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。……………
- 家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。…
- 親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。…



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にしてください。